

第62回 原材料費・エネルギーコストの高騰に立ち向かうには？ III

前回は、原材料費・エネルギーコストの大幅アップという危機に際して、「商品開発によって、利益率を上げて、少々の原価上昇を飲み込んでしまう」ことについて書きました。

今回は、「コストダウンによって利益をできるだけ確保する」ためのツールとして、「重点管理」「ABC管理」というものを紹介いたします。

「コメ一粒も残しません！」「ポストイット1枚ムダにするな！」・・・みたいな話は、精神訓話の世界では今でも耳にするかもしれません。一方、経営学の世界では、あまりにも小さなことに対して時間や手間をかけるべきではないと普通は考えます。

この考え方を具体化するツールとして、「重点管理」というものがあります。

例えば12種類の原材料を使用している工場があったとして、今、原材料費の抑制が大きなテーマであるとして。

ここで、12種類の原材料を、購入金額が多い順に並べます。そして例えばA・B・Cの3段階にランク分けします。

そしてAランクの原材料については、重点的なコスト管理を行います。供給業者との価格交渉、設計段階での使用分量の圧縮（金型の変更、より安い材料への代替）、製造過程でのロス率の低下、などなどを徹底的に進めます。一方、Cランクの原材料については、現状維持として特に努力はしません。Bランクについてはこの中間です。

この「重点管理」（その一種としての「ABC管理」）を行うことによって、コストダウン活動を効率よく行うことができ、結果として全体のコストを効率よく下げることができると考えられます。逆に言いますと、Cランクの原材料についてあまり真面目に労力をかけていると効率が上がりません(-_-)。

この「重点管理」の考え方は、他の色々な活動に展開できます。例えば顧客をA～Eの5段階にランク分けし、上位層の顧客ほど重点的な営業活動を行う、といったことです。さらに、金額順（「重要性」）でランク分けするだけでなく、「操作可能性」でもランク分けした上で、「重要性」と「操作可能性」のマトリックスを作成し、この2項目とも高い方から重点的に管理する、「クロス重点管理」というものもあります。これについてはいずれ書きたいと思います♪。